

「見える」安全活動コンクール

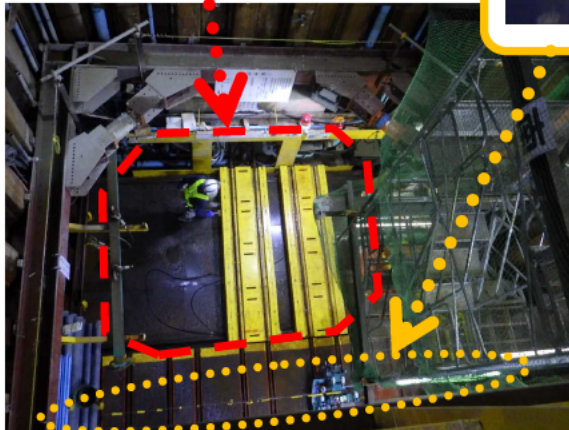
題 材

立坑内“立入禁止箇所”の見える化

実 施 状 況

説 明

立入禁止範囲



◆ 概要

シールド工事の立坑で天井クレーンによる荷揚げ荷卸しを行うため、下方の危険な範囲をプラチェーンで明示しました。

◆ 内容

天井クレーンを使用する際の立入禁止範囲を決め、鉄線を張ってプラチェーンを垂らしました。プラチェーンは目立つ黄色の物を使用し、視線に入る高さに調整しました。

材質がプラスチックのため、当たってもケガすることはありません。

◆ 効果

視線に入りやすいため、素早く退避ができました。作業の邪魔にならず、維持管理の手間もありませんでした。